

2010年度 和歌山県の景気

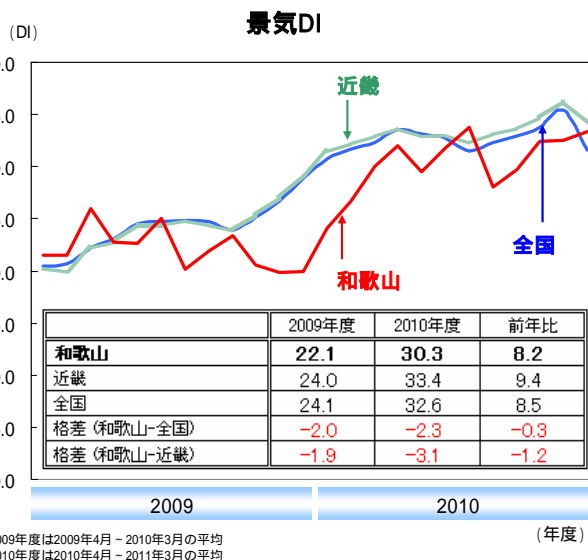
- ・ 2010年度の和歌山、前年度から大きく回復したものの全国を下回る
- ・ 規模別、すべての規模で改善したものの「小規模企業」の回復の遅れが鮮明に
- ・ 東日本大震災の影響、水産業に直接被害が発生。取引先の被災や消費マインドの低下など間接的な被害も発生

2010年度(2010年4月～2011年3月平均)の和歌山の景気DIは底堅い内需と新興国向けの輸出の増加などがけん引役となり、前年度比8.2ポイント増の30.3と改善した。2008年9月に起こったリーマン・ショックの影響などで景気が停滞した2009年度(22.1)から大幅に改善しているものの、リーマン・ショック前(2007年度:40.5)の水準には回復していない。

全国(2010年度:32.6)との比較では、和歌山が2.3ポイント下回り、近畿(2010年度:33.4)との比較でも3.1ポイント下回った。全国および近畿との格差(2009年度:全国2.0ポイント、近畿1.9ポイント)はともに前年より拡大しており、和歌山の景気回復が全国的にも遅れていることが鮮明となった。

規模別では、「大企業」が32.2と前年度(2009年度:24.3)比で7.9ポイント増、「中小企業」も29.9と同8.3ポイント増とともに大幅な改善となった。「小規模企業」は20.9と前年度(同17.8)より3.1ポイント増と改善したものの、「大企業」、「中小企業」に比べ小幅な改善にとどまった。「大企業」と「中小企業」の規模間格差(「大企業」-「中小企業」)は2.3ポイントとなり前年度の2.7ポイントより縮小した。一方、「大企業」と「小規模企業」の規模間格差(「大企業」-「小規模企業」)は前年度の6.5ポイントから11.3ポイントへと大幅に拡大した。和歌山の「小規模企業」は建設関連の企業が多く、公共事業の削減などが影響し低迷が続いていることが影響した。

業界別では、『建設』(17.8、2009年度:13.0)、『製造』(29.0、同21.8)、『卸売』(32.6、同21.4)



和歌山 規模別

	2009年度	2010年度	前年比
大企業	24.3	32.2	7.9
中小企業	21.6	29.9	8.3
小規模企業	17.8	20.9	3.1
格差(大企業-中小企業)	2.7	2.3	-0.4
格差(大企業-小規模企業)	6.5	11.3	4.8

2010年度は2010年4月～2011年3月の平均
2009年度は2009年4月～2010年3月の平均

和歌山 業界別

	2009年度	2010年度	前年比
建設	13.0	17.8	4.8
製造	21.8	29.0	7.2
卸売	21.4	32.6	11.2
小売	11.1	14.1	3.0
運輸・倉庫	27.5	38.2	10.7
サービス	33.0	39.6	6.6

2010年度は2010年4月～2011年3月の平均
2009年度は2009年4月～2010年3月の平均

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および無断引用を固く禁じます。

『小売』(14.1、同 11.1)、『運輸・倉庫』(38.2、同 27.5)、『サービス』(39.6、同 33.0) など幅広い業界で改善した。しかし、全国と比較すると、『運輸・倉庫』『サービス』は上回ったものの、『建設』『製造』『卸売』『小売』では下回っており、回復の足並みは業界間で異なっている。

東日本大震災の影響

2011年4月調査の和歌山の景気DIは、前月比2.0ポイント減の31.3となり5カ月ぶりに悪化した。全国(30.4)を上回ったものの、『近畿』(32.8)を下回った。

規模別では「大企業」が同3.2ポイント増の38.9と3カ月連続で改善した。一方「中小企業」は同3.6ポイント減の29.3、「小規模企業」も同12.5ポイント減の18.8とともに悪化した。「中小企業」は4カ月ぶりに30を下回り、規模間格差は前月の2.8ポイントから9.6ポイントとなり大幅に拡大した。業界別では、『製造』と『運輸・倉庫』が大きく改善したものの、『卸売』と『サービス』は大幅に悪化した。

和歌山 2011年4月調査

	2011年3月	4月	前月比
全体	33.3	31.3	-2.0
大企業	35.7	38.9	3.2
中小企業	32.9	29.3	-3.6
小規模企業	31.3	18.8	-12.5
格差(大企業-中小企業)	2.8	9.6	6.8
格差(大企業-小規模企業)	4.4	20.1	15.7
建設	20.0	20.0	0.0
製造	33.3	36.4	3.1
卸売	35.7	28.2	-7.5
小売	16.7	16.7	0.0
運輸・倉庫	35.7	38.9	3.2
サービス	45.8	36.7	-9.1
近畿	34.2	32.8	-1.4
全国	31.6	30.4	-1.2

東日本大震災の影響は、和歌山にも現れている。農林水産省が発表した『東日本大震災について～東北地方太平洋沖地震の被害と対応～』によると、和歌山で現在報告(2011年5月17日時点)されている水産関連の被害額は漁船200万円、施設被害8,200万円、養殖物被害8億3,400万円となっている。養殖業(総生産量国内第7位 出典:平成22年「和歌山の水産」)を中心に大きな被害が発生しており、マダイやマグロなど出荷に複数年を要する養殖魚にも被害が出ていることから、中長期的な悪影響が懸念される。また、観光でも、原発問題による影響で全国的に外国人観光客が減少しているため、世界遺産に登録された「熊野古道」をもつ和歌山にとって痛手となる可能性もある。製造業や卸売業では世界的な原材料費の高騰により利幅が減少しており、企業を取り巻く環境は依然として厳しい。

企業からは「東日本大震災の間接的な影響が出ている」(専門商品小売)や「震災で東日本の店舗が崩壊、顧客先が計画生産数を見直し、売り上げ減少の見込み」(繊維・繊維製品・服飾品製造)など震災による間接的な影響が出始めている声も多い。先行きに対する懸念材料は山積しており、景気は一時的に停滞する可能性もある。

(産業調査部 経済動向研究チーム K.N)